

漢方薬で効果が得られた胃癌患者の 1例

症例

▶ 患者：84歳 男性

▶ 主訴：貧血、食欲低下、浮腫

▶ 現病歴

4か月前から全身倦怠感、歩行時の息切れが出現し、1か月前より下肢の浮腫が出現。2週間前より食事摂取不良となった。

近医を受診し、Hb4.3g/dL、胸部XPにて胸水を認めため、前医に紹介となる。精査にてトポノント・HFABPは陰性、急性冠症候群は否定的であった。CTにて胃壁肥厚を認めため、胃癌の疑いで当院に転院搬送となる。

- ▶ 既往歴 : 64歳 大腿骨骨折 (保存加療)
- ▶ 内服薬 : 定期内服薬なし
- ▶ ADL : 普段は杖歩行。難聴あり。
- ▶ 喫煙歴 : 34年前に禁煙(それまでは20本×30年)
- ▶ 飲酒歴 : なし
- ▶ アレルギー : なし

来院時現症

- ▶ 意識清明、体温 36.8度、BP 124/53mmHg、HR 86回/分
SpO₂ 98%(mask 4L)、起座呼吸
- ▶ 顔面蒼白、眼瞼結膜貧血様、頸部リンパ節触知できない
- ▶ 呼吸：右優位に背側でcoarse crackles聴取
- ▶ 腹部：平坦、軟。自発痛・圧痛なし、嘔気・嘔吐なし
- ▶ 上肢は右側優位に前腕にpitting edema軽度。
下肢は両側とも全体的にpitting edema 著明。
足背動脈・大腿動脈触知良好

Labo Data ①

<生化学>

CRP 0.67mg/dl

TP 6.4g/dl

Alb 2.3g/dl

T-bil 1.02mg/dl

CHE 89IU/l

AST 15IU/l

ALT 9IU/l

LDH 194IU/l

ALP 196IU/l

γGTP 9IU/l

BUN 19.5mg/dl

Cre 0.79mg/dl

Na 136mEq/l

K 3.7mEq/l

Cl 109mEq/l

血糖 113mg/dl

<CBC>

WBC 7000

RBC 258万/μl

Hb 4.4g/dl

Ht 15.7%

Plt 19.3万/μl

<凝固>

APTT 29.5sec

PT 14.1sec

INR 1.34

Labo Data ②

<動脈血液ガス>

pH 7.453

pCO₂ 32.5mmHg

pO₂ 82.1mmHg

sO₂ 100.0%

Base -1.1mmol/L

HCO₃ 23.5mmol/L

造影CT



上部消化管内視鏡検査

EG junction



胃 噴門部



西洋医学的な診断

- ▶ 胃噴門部進行癌
- ▶ 貧血
- ▶ 全身浮腫
- ▶ 胸水

東洋医学的な診断

▶【八綱】

陰、虚、寒、裏

▶【氣血水】

氣虚、血虚、水滯

治療経過

▶ 胃噴門部進行癌

上部消化管内視鏡にて食道への直接浸潤を伴う、食道胃接合部の易出血性隆起性病変を認めた。病理では低分化腺癌であり、胸水細胞診は陰性であった。

CT上、明らかな転移は胃小彎側のリンパ節のみで、本人・ご家族が手術希望されたため、左開胸開腹胃全摘術の予定となる。

全身衰弱傾向であるため、退院時に補中益気湯を処方した。

▶ 胸水貯留、低酸素血症

心エコーにて壁運動低下を認め、細胞診が陰性であったことから、心原性肺水腫による胸水と考えられた。ラシックスで治療開始し、状態が落ち着いてからは慢性心不全もあるため、アルダクトンに変更した。アルダクトン25mg 2錠では腎機能の悪化を認めたため、アルダクトン25mg 1錠と五苓散処方し、胸水が残存しているものの、改善傾向であり手術予定で一旦退院となる。